

12月12日（月）ヨハネ1：4、5

この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。

父なる神さま。私の暗闇には、あなたの光が輝いているでしょうか？

それとも、心の暗闇に蓋をしているのでしょうか？私から希望を奪い、絶望へと追いやる闇の力が怖くて、暗闇を避けることを学んできてしまいました。

願いが叶わない事、大切な人や大切にしてきたことを失う事への不安や、嘆きや痛みを、素直にあなたに言うことができずにいます。

イエスさま。嘆きと失望の暗闇の中で、あなたのいのちに気づかせてください。あなたは明けの明星です。現実の暗闇の中でこそ、あなたの真の輝きを見ることができますように。しかし、一人で立ち上がるには勇気がいるのです。

どうか、私の暗闇に来てください。そして、闇に打ち勝つ、あなたのいのちの光で私を照らしてください。



12月13日（火）ルカ10：41、42

主は答えられた。「マルタ、マルタ。あなたはいろいろなことを思い煩って、心を乱しています。しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません。」

父なる神さま。私に必要な一つのこととは何ですか？この世は、一番大切なことから私を離そうとします。アドベントは、一年で一番それを実感する時です。私には、どれも大切なことに思えて、思い煩っています。

イエスさま。あなたを置き去りにして、私がクリスマスを迎えることがありませんように。あなたは私を労って、二度も名前を呼んでくださいました。

どうか、そんな優しいあなたの御声に、耳を傾ける者としてください。

12月14日（水）マタイ17：5

彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲が彼らをおおった。すると見よ、雲の中から「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け」という声がした。

父なる神さま。私は誰を喜ばせようとしているのでしょうか？

高い山でモーセとエリヤと語らうイエスを見た時、ペテロ

はなぜあんなことを言ったのでしょうか。私もすぐに反応し、誰かのためと思いつつ、実は自分のために行動していることに気づきます。

イエスさま。あなたが神にどれだけ愛され、どれだけ喜ばれていたのかを、私の心に留めさせてください。

どうか、誰かを喜ばすことよりも、十字架に掛けられた神の子によって、私のような者さえ神の子とされたことを、心から喜ぶことができますように。目の前の出来事に反応するのではなく、あなたの御言葉に、応答する者としてください。

12月15日（木）ピリピ2：6-8

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

父なる神さま。なぜ神は人となられたのでしょうか？この驚くべき御降誕の出来事が、私の救いのためだと知りながら、いつの間にかその恵みの重大性を忘れてしまいます。それは、私自身がいつまでもプライドを握りしめ、自分を捨てられない者だからでしょうか。

イエスさま。あなたはその偉大な力を、ご自分を誇示するためには用いず、傷ついている者、助けを必要とし

ている者のために使い、その生涯を仕える者として歩まれました。

どうか、あなたの神への従順を通して、こんな私をも救い出してください。神のご愛と恵みの大きさを教えてください。



12月16日（金）申命記30：19、20

私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。・・・あなたの神、【主】を愛し、御声に聞き従い、主にすがるためである。まことにこの方こそあなたのいのちであり、あなたの日々は長く続く。

父なる神さま。私にとっていのちとは何でしょうか？ 失いかけて気づくように、どこかいのちを軽んじていた自分がいます。いのちがけで損得を、いのちがけで成果や評価を求めていました。いのちは、あなたから与えられたものです。そのいのちに耳を傾けることもせず、自我の願うままにいのちを軽んじてきました。

イエスさま。あなたは私を救うために、あなたのいのちを差し出してくださいました。

どうか、あなたにあるいのちが、私を罪と死と律法から、解放してくれたことを心に刻ませてください。そして、いのちを選び、それを豊かに使う者へと変えてください。

12月17日（土）申命記31：6

強くあれ。雄々しくあれ。彼らを恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、【主】ご自身があなたとともに進まれるからだ。主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

父なる神さま。私はやはり、恐れているのでしょうか？ この先の見通しがたたず、どのような道を通らされ、どんな試練が待っているのかわからないのです。しかし神さま。わかっている、私は疑い、不安になってしまいます。これまでの経験やトラウマが、心から離れないのです。あなたはそれをご存知で、荒野の40年を通った民に、このお約束をくださったのでしょうか？ 「あなたを見放すことも、見捨てることも絶対にしない」と。

イエスさま。約束だけでは信じられない私に、神であるあなたが、人となって生まれてくださいました。これこそ、インマヌエルなるキリストです。

どうか、恐れる私と共にいてください。あなたがいてくださるから、私は強くなれるのです。

みことばと共に行くアドベント

2022

第3週

